

## 玉名型3つのツーリズム事業業務委託プロポーザル実施要領

### 1 業務委託名

玉名型3つのツーリズム事業

### 2 業務委託限度額

6,806,000円(税込み)

※ただし、所要経費一括管理による事務の簡素化・省力化を図るため、関係業者への支出が主となる項目もある。

### 3 目的

本委託業務は、「金栗四三スピリット」の推進を軸として、令和3年度から令和5年度(※実績は別表のとおり)にかけて金栗レガシーを活用した玉名型の「スポーツ」「ウェルネス」「教育」の新しい切り口で3つのツーリズムの推進に取り組んできた。令和6年度にこれまで取組みの見直しや改善を行い、令和7年度も更なる交流人口の増加を図ることができるツーリズムの構築を目指すものである。

### 4 業務委託の内容

#### (1) 金栗四三スピリット推進事業

- ・金栗四三翁が成し遂げた偉業の更なる磨き上げを行い、関係機関との連携の強化を図る。

#### (2) 3つのツーリズムの推進

##### ①玉名型スポーツツーリズム

- ・金栗四三マラニック等のスポーツイベント開催
- ・金栗四三マラニック等を通じた認知度向上

##### ②玉名型ウェルネスツーリズム

- ・くまもと県北病院や九州看護福祉大学、玉名温泉、小天温泉等の本市のコンテンツを活用したツーリズムの推進

##### ③玉名型教育ツーリズム

- ・金栗四三翁の功績やレガシーを活かした交流・イベントの開催

#### (3) 3つのツーリズムの検証

- ・専門家等を招聘し、これまで進めてきた事業の検証等を含め、新しい観光スタイルの検討

#### (4) 事業のコーディネート

- ・アドバイザーへ事業全体の進捗管理やコーディネートを委託

#### (5) 事業実績報告書の作成業務

- ・本委託事業の事業実績報告書の作成

## 5 委託条件

- ①採用業者の企画内容・デザイン・写真等の著作権等は、玉名市に帰属すること
- ②パンフレット等印刷物作成終了後、製作データおよび完成データを提出すること

## 6 提出物（以下のものを4部、提出すること）

- ①企画提案書の概要（様式第2号）
- ②玉名型3つのツーリズム事業企画書（様式自由）  
企画書は40ページ以内とし、データでの提出は認めない。
- ③概算見積書（様式自由）
- ④類似業務実績（様式自由、記載があれば会社案内でも可能）
- ⑤業務体制図（様式自由）
- ⑥結果通知用の返信用封筒（110円切手を貼り付けておくこと）

## 7 選定基準

- ①玉名型3つのツーリズム事業企画内容、企画力、業務体制や実績などを総合的に勘案し、委託業者としての適格性、妥当性を評価する。
- ②予算の一括管理による業者支払いのみの委託業務があるが可能か否か。
- ③委託料の支払いは基本的に全事業終了後、もしくは中間報告時と事業終了後の2期制での支払いとなる。そのため、時期によっては事業費を委託業者に一度負担してもらうケースが発生するが、事業費の一時的な負担は可能か否か。

## 8 提出日及びプレゼンテーション実施日

- ① 参加表明書：令和7年4月3日（木）午後5時まで（期日厳守。FAX可）
- ② 企画案提出日：令和7年4月11日（金）午後5時まで（期日厳守。郵送可）
- ③ プレゼンテーション実施日：令和7年4月15日（火）（時間は後日連絡します）  
企画が多数あった場合は、事前審査で数社を選定して、プレゼンテーションを行う。  
審査の方法、採点基準等は別紙に定める。

【説明時間20分】

※プレゼンテーション場所：玉名商工会館5F 多目的ホール（玉名市高瀬290-1）

## 9 提出先

〒865-0025 玉名市高瀬290-1 玉名商工会館2階  
玉名市観光物産課 金栗四三・ツーリズム推進室 担当：牧野、池本

## 10 質問の受付

委託業務に関する質問は末尾連絡先メールにより受け付ける。

- ① 期限：令和7年4月4日（金）午後5時まで
- ② 回答：参加表明者全員に対してメールで令和7年4月9日（水）までに回答する。
- ③ 回答を受け、辞退の申し出を行う場合は、電話もしくはメールでの連絡と併せ「参加辞退届」を提出すること。

## 11 委託先の選定

観光物産課内及び関係者により厳正かつ中立に審査・評価し、最も優れた企画提案業者を契約相手先として選定する。

## 12 採否の通知

採否の結果は、プレゼンテーション後3日以内に、提案業者に通知する。

### ※問い合わせ先

玉名市観光物産課 金栗四三・ツーリズム推進室 （担当：牧野、池本）

TEL：0968-73-2222

FAX：0968-73-2220

メール：[kanbutsu@city.tamana.lg.jp](mailto:kanbutsu@city.tamana.lg.jp)

(別表)

	玉名型 スポーツツーリズム	玉名型 ウェルネスツーリズム	玉名型 教育ツーリズム
令和3年度	全体ロードマップ策定・基礎固め		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回マラニック大会の実施</li> <li>・フォトコンテストの実施</li> <li>・マラニックコース、マラニック大会に関する情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェルネスツーリズムツアー実施に向けたワークショップで受け入れ態勢等の課題洗い出し</li> <li>・福祉医療系の大学生等への講座</li> <li>・人材育成</li> <li>・高齢者日帰りモニターツアー（気付きの発見、課題と方向性の確認）</li> <li>・諸活動の情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の中学校での金栗学習実施とオンライン交流、及びその情報発信</li> <li>・「金栗こども新聞」作成、熊本県内の小中学校へ配布</li> <li>・金栗ガイド、子ども金栗ガイド育成</li> </ul>
令和4年度	本格稼働・実践		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回マラニック大会の実施</li> <li>・マラニックの拡充</li> <li>・マラニックコース、マラニック大会に関する情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決に向けたスキルアップ（昨年の反省点からの改善など）</li> <li>・ツアー内容の検討と整備（スタッフ・学生）</li> <li>・高齢者日帰りモニターツアー（無料と有料の2回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金栗四三を語るシンポジウム</li> <li>・筑波大学教授による玉名高校及び専大玉名高校オンライン授業</li> <li>・荒尾・玉名エリアの中高生を対象としたランニング教室</li> </ul>
令和5年度	3つのツーリズム定着・持続的実施へ		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回マラニック大会の実施（台湾から招聘したインフルエンサーを活用）</li> <li>・マラニックコース、マラニック大会に関する情報発信</li> <li>・常設コースでのイベントを実施→アプリ「Spot Tour」を使用した長期間のイベント開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九州看護福祉大学のスポーツサークル「アイリス」の健康教室を盛り込んだ高齢者日帰りモニターツアーを2回実施（初めての大学内での開催）</li> <li>・マニュアル化、福祉系以外の旅行会社による実施</li> <li>・学生間による引継ぎや学生参加が少ない場合の対処法など明確化</li> <li>・アンケート結果を用いた各種ガイドへの課題提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筑波大学教授によると玉名高校とのオンライン授業</li> <li>・荒尾玉名の中高生を対象とした講演・ランニング教室</li> <li>・金栗四三を語るシンポジウム</li> <li>・台湾の中山女子高級中学へ金栗翁の講義</li> </ul>
令和6年度	3つのツーリズムの再検討・新たな取り組みの実施		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4回マラニック大会の実施</li> <li>・今回初めて、スイーツマラニックを同時開催</li> <li>・SNSを活用したマラニックの情報発信</li> <li>・ランネット（WEBサイト）を活用したマラニックの参加者募集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九州看護福祉大学のスポーツサークル「アイリス」の健康教室を盛り込んだ高齢者日帰り有料バスツアーを1回実施（今回初めて福岡発着の旅行会社のツアーを実施）</li> <li>・健康教室については学生数を減らし、ツアー参加者を2班に分けて実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筑波大学教授によると玉名高校とのオンライン授業</li> <li>・中西麻耶氏講演会</li> <li>・台湾の中山女子高級中学へ金栗翁の講義</li> </ul>

(別紙)

プレゼンテーションの審査について

- (1) プレゼンテーションの時間  
プレゼンテーションの審査はプレゼンテーション20分、質疑応答10分の計30分で行う。
- (2) プレゼン企画書について  
プレゼンテーションに伴う企画書は、企画案提出日までに提出した資料にて行うこととし、原則資料等の追加は認めない。
- (3) 採点基準について  
審査は以下の採点表を元を実施する。

項目	配点
<b>【金栗四三スピリット推進事業】</b>	
●金栗四三の精神・功績の認知度向上	
・企画内容が優れているか	10
・関係機関との連携が図れるか	10
<b>【3つのツーリズムの推進】</b>	
●玉名型スポーツツーリズム	
・企画内容が優れているか	5
・認知度を高められているか	5
●玉名型ウェルネスツーリズム	
・企画内容が優れているか	5
・商品化につながる内容か	5
●玉名型教育ツーリズム	
・企画内容が優れているか	5
・教育機関との連携が図れるか	5
<b>【3つのツーリズムの検証】</b>	
●事業の検証	
・検証方法は適当か	15
<b>【類似業務実績の内容】</b>	
・提案内容	5
<b>【業務体制】</b>	
・提案内容	5
<b>【概算見積】</b>	
・費用対効果	5
<b>【全体評価】</b>	
・質問への回答内容 ・全体の構成・企画力など	20
<b>合計</b>	<b>100</b>